



ききょう便り

平成23年 秋号（第27号）



デイサービスセンター岡谷 ぶどう狩り

「高齢者に一層の配慮を」

理事 青木 清吉

東日本大震災の被害は誠に甚大であった。津波で瓦礫の山となった町、それに追い打ちを掛けるような福島の原子力発電所の事故による放射性物質の飛散、被災地の方々のことを思うと胸が痛む。被害を受けた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今年は震災に続いて台風による大洪水も起き、日本中のあちこちで大きな被害を被った。被災地の一日も早い復旧、復興を願うものである。

月日が経つのは早いもので、この春、ききょうの里は開設二十周年を迎えた。これもひとえに地域の皆様の温かいご支援、ご協力があったからこそであり、心より感謝申し上げますとともに、さらに信頼が高まるよう微力を注ぐ決意である。

現在、高齢者を取り巻く環境は決して良いとは言えない。医療保険、介護保険の保険料も値上げせざるを得ない状況のようだし、所得税の増税も検討されている。これに加えて、近々消費税も増税の予定だそうで、国民負担は増すばかりである。

高齢者の数もどんどん増えて施設利用者も増え、施設利用を希望する待機者も増えて施設不足が目立ってきている。国をはじめ、行政機関には素早い対応を望みたい。

国は被災地の復旧に頑張っていると言っているが、報道で被災者の方々の状況を見ていると、対応は未だに不十分と言わざるを得ない。また、放射性セシウムは、影響が無くなるまでに何十年もかかるという。しかし、これらにかこつけて福祉の切り捨てをするようなことは有ってはならない。高齢者をはじめ国民が安心、安全に暮らせる社会にするために、特に為政者は全力で取り組んで欲しいと思う。



社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう
ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒 378-0002

群馬県沼田市横塚町 957 番地 2

TEL 0278 - 23 - 8831

FAX 0278 - 23 - 8832

〒 378-0061

群馬県沼田市岡谷町 687 番地

TEL 0278 - 23 - 8861

FAX 0278 - 23 - 8852

発行責任者 諏訪 光生

ききょうデイサービスセンターの取り組み

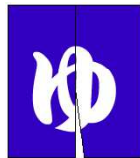
利用者様の思いに寄り添い、お一人おひとりの気持ちを
しっかり受け止めるよう心掛けて取り組んでいます。

～利用者様やご家族に安心して生きいきと生活していただけるよう支援しています～
100歳を越え、ますますお元気で過ごされている利用者様もいらっしゃいます

- ・外食会、夏祭り、敬老誕生会、りんご狩り、紅葉ドライブ、クリスマス会など季節を感じていただけるような行事を実施しています。
- ・手作りおやつは利用者様の要望も取り入れて、昔懐かしい繭玉作りやおはぎ、桜餅、柏餅など利用者様にも職員と一緒に作って楽しんでいただいています。

天然温泉や備長炭、ハーブ、紅茶など、
毎月変わったお風呂を提供しています。
色々なお湯で気分転換をしていただき、
湯上がりには心身共にリラックス！

- | | |
|-----|-------------|
| 1月 | 日本酒・みかんの皮 |
| 2月 | 塩・備長炭 |
| 3月 | ヒノキ・ラベンダー |
| 4月 | 重曹・ミント |
| 5月 | 菖蒲・生姜 |
| 6月 | よもぎ・レモンバーム |
| 7月 | みかんの皮・笹 |
| 8月 | どくだみ・レモンバーム |
| 9月 | ペパーミント・紅茶 |
| 10月 | りんご・ラベンダー |
| 11月 | かりん・塩 |
| 12月 | ゆず・レモンバーム |



体力や筋力の維持向上に努めています



運動会や輪投げ、ペットボトルボーリング等、身体を使ったレクリエーションを取り入れ、筋力を保ち在宅生活を継続できるよう支援しています。



集団レクリエーションの他、毎日個別機能訓練として筋力体操や、歩行訓練を行っています。



☆作品展に向けて頑張っています☆

趣味を活かした個別レクリエーションを取り入れ、手芸・手まり・絵手紙・陶芸・ぬりえ等に取り組んでいます。できあがった作品は、「ききょうの里作品展」で地域やご家族の皆様にご覧いただいています。毎年好評をいただいております。次の作品作りの意欲に繋がっています。



今年の作品展は11月20日（日）～11月26日（土）まで開催します。

日頃取り組んでいる成果を是非ご覧下さい。皆様のお越しをお待ちしています。

フォトアルバム(行事紹介)

20周年記念行事



20周年を記念して食事会を行いました。



パウフラ様 春駒チェリーズ様
皆様が記念行事に花を添えて下さいました。



季節の行事



十三夜のだんごを
作りました。
大きなだんご
美味しそうですね！



近所のぶどう園に皆で
出掛けました。
もぎたてのブドウに
思わず「おいしい〜」



今年も10月に稲刈り
を行いました。収穫
した新米は皆でおに
ぎりにして食べます♪

長寿のお祝い



今年めでたく100才を
迎えられた
利用者様が
いらっしゃ
います。



“ボーナスは、どのくらい出るの？…”

歳を取ってから急に知らないところへ
出かけていくのは、勇気のいることです
よね。初めてデイサービスを利用する皆
様は、きっと勇気を振り絞って来るのだ
と思います。「どこまで連れて行かれるのか？」「今日
は家に帰れるのか？」「怖い人はいないか？」など、
心配なことは山ほどあるからです。私たち職員一同
は、そんな不安な利用者様が1日目から、安心して、
楽しく、気持ち良く、サービスを利用していただ
けるよう、個々人に応じた様々な準備を整えてお待
ちしております。その一例をご紹介します。



現在、ご利用中のF様は、まだ60歳代とお若い
ため、ご本人の希望を取り入れて、仕事として来
て頂きました。「この歳で雇ってもらえてありがたい。」
とエプロン持参で元気に出勤？され、すっかり一日
で気に入っていただき、週2回のご利用ですが毎日
出かける準備をなさっているようです。ただ、今
でも仕事と思っているようで「ボーナスは、どれくら
い？」『そうねえ…スズメの涙かしら(笑い)』など
職員同士？の会話が弾んできます。

また、先日ガンでお亡くなりになったI様には、
ボランティアとして顔なじみの職員が『今日も手伝
ってくれるかい？』とお迎えに行きました。病気が
発覚してからもご家族の温かい支えのもと、デイに
来て仲間や職員とおしゃべりするのを最後まで楽し
みにご利用されました。この場をお借りして、改
めてご冥福をお祈り申し上げます。

最後に結論。デイサービスって利用してみると、
本当に楽しいところですよ。若返ること間違いなし
です。さあ、皆さんも出かけましょう。

(デイサービス岡谷 高橋)

今回は、ききょうの里での感染対策の取
り組みについて紹介させていただきます。

まず、①インフルエンザウィルス感染や
蔓延の防止としてワクチン接種を、1年に
1回嘱託医により実施。②日頃からの体温
・血圧測定、栄養・水分摂取状況の確認、
春と秋の健康診断の結果から入所者様が
出来る限り健康的な生活を送れるよう援助
する健康管理。③嘱託医による診察の介
助と指示のもと治療の実施。④内服薬
・体調不良などの場合の臨時処方薬・頓
服薬など医師の指示に従い薬剤の確実な
投与、また感染症罹患時に蔓延防止の
ための隔離の実施。⑤異常の早期発見
・早期対応。⑥体調不良・容態悪化・
急変時などの場合に病院への搬送・受
診介助、などがあります。

感染症には、一般的に風邪と言われるも
のから、インフルエンザ・ノロウィルス
などさまざまありますが、最近気温など
気候の変化から感染症の流行時期を
想定することが難しくなっています。1
年間を通して常に感染症を想定して
おく必要があります。私たちは利用者
様がこれ以上悪化することのないよ
うに、またそれ以上感染者を出さな
いように、さらに私たち自身が感
染源となることのないように、細心
の注意を払って取り組んでいます。今
年も冬がやってきますが、身を引
き締めていきたいと思ひます。
(看護 小野里)

職員紹介

この職に就いて

季節は変わり、朝晩は寒さを感じられるためか、利用者様の中には一枚多く上着を羽織る方が増えてきました。風邪をひかないよう気配りをしていきたいと思えます。

私が介護福祉士になろうと思ったきっかけは、中学生の時、ききょうの里でボランティアをした際、利用者様に「ありがとう。」と言われたことです。それがとても印象的だったので、私も誰かの役に立ちたいと思い、介護の道を選びました。

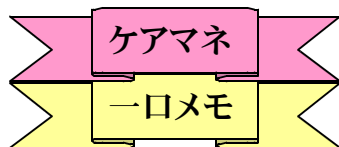
入職して早くも5年が経ちました。1年目のデイサービスセンターでは、介護の基礎だけでなく、社会人としての基礎を利用者様と職員のみなさんから教えていただいたように思います。2年目から施設介護のユニット型に異動になり、初めは「在宅」と「施設」の違いにとまどうことも多くありましたが、ベテランの職員にたくさんのことを教えていただき、今では先輩の職員と一緒に利用者様のケアについて話し合うのがとても楽しくなってきました。おいしく食べていただけるものは何か、この方は何が好物なのか、ということを含んで話し合い、一緒に美味しいものを味わったり、時には外食をしたりすることで、利用者様に幸せなひとときを感じていただければ、これほど嬉しいことはありません。

未だに、デイサービスセンターの利用者様が声をかけてくれたり、名前を覚えていて呼んでくれたり、ご家族の方から温かい言葉をいただいたり、たくさんの方から声をかけてもらえたりすると、「みんなに応援されているんだ。頑張ろう。」と思えて嬉しくなります。

私が笑って利用者様の手を握ると、それだけで喜んで下さり、笑顔を見せてくれます。その笑顔が毎日続きますように微力ながらも頑張りますので、これからもよろしくお祈りします。



介護職員
原澤菜美子



「感情の浪費？」—介護者・絵子さんからの質問

「ようやく上の子が進学したからパートしなくちゃと張り切ってた矢先にお義母さんが認知症気味。目が離せなくてパートは延期、かかりもするし、ワタシ更年期気味だしっ。夫はワタシのイライラを見て『感情の浪費だよ』だって！ ッタクー。若い時は確かに感情の浪費はありました。片思いもありましたし・・・でも感情の浪費があるなら節約があるのですか？ お答え下さい！」

【答案の一例】 介護の大半は痛みを分かち合うことで、本人の痛みを軽くし乗り越えるのを手伝うことで成り立っています。その原理は共感する力にあるようです(ミラーニューロン)。苦しむ人の前に立つと、それを見ている人の脳にも苦しみの感情が生じることは実験で証明されています。ですからプロの介護者は微笑み返しでなんぼですが、ご自宅での家族介護は、愛情が濃い分余計に疲れてしまいます。



そこで絵子さん、感情は節約すると余計にストレスが溜まります。感情はキレイに燃やすことです。たとえばケアマネに「べーっ(>_<)」という感情付きでも良いですから相談してみてください。ほんの一瞬でも「ま、いっかー」という気持ちが生まれたら、少しすっきり元気が出ますよ。それからご主人、自分だけ絵子カー減税はルール違反。奥様を大切に。(居宅介護支援事業所 大平)

☆☆今後の予定☆☆

☆ききょうデイサービスセンター

- 11月 紅葉ドライブ(1~3日)
作品展(20~26日)
- 12月 餅つき忘年会(上旬)
クリスマス誕生会(下旬)
- 1月 新年会(中旬)



☆ききょうの里(従来型) ☆ユニット型

- 11月 買い物ツアー(上旬)
- 12月 餅つき大会(上旬)
そば打ち(中旬)
クリスマス会(下旬)
- 1月 新年会(1日)



☆ききょうデイサービスセンター岡谷

- 11月 紅葉狩り(上旬)
- 12月 切り干し大根作り(上旬)
忘年会・カラオケ(中旬)
クリスマス会(下旬)
- 1月 七草がゆ・小豆がゆ(上旬)



◇◇編集後記◇◇

『いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう』の語呂合わせから、厚生労働省は2008年から11月11日を「介護の日」に設定しました。

高齢化などにより、介護を必要とする人は着実に増加しています。誰もいつかは介護をする立場になったり、介護を受ける立場になるかもしれない身近な問題です。

介護の日を間近にして、改めて介護の必要性や大切さを感じています。
(総務 中山)

